



糸魚川市立西海小学校

所在地 糸魚川市羽生 1937

校長 猪又 千恵子

教頭 松田 敬

☎ 025-552-3811

f ax025-552-0763

E-mail umikawa@iteoigawa.ed.jp

平成 30 年度学級編成

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特支	合計
学級	1	1	1	1	1	1	2	8
男子	6	6	5	10	14	9	4	54
女子	6	8	9	7	2	8	1	41
合計	12	14	14	17	16	17	5	95

1 学校の概観

(1) 学校の沿革

平成 17 年 西海小学校発足（北西海小学校
と南西海小学校が統合）

平成 26 年 創立 10 周年記念式典挙行

平成 27 年 交通安全ヘリコプター訪問
（泉田裕彦県知事訪問）

(2) 教育課題

西海小学校いじめ防止基本方針を基に
した児童の心の育成

P T A、後援会、公民館、青少協等と連携
した教育活動や生活指導の充実

保育園から中学校への接続を意識した子
ども一貫教育の推進

学力の向上（国語を中心とした聴く力・話
す力の育成と家庭学習習慣の確立）

2 本年度の教育課程

(1) 教育目標

「うるわしき心 よく学び 元気な体
清き夢」

(2) 重点目標

「西海大好きと言える子」

(3) 重点目標達成のための方策

ジオパーク学習を通して、地域の宝を活用
した教育活動を推進する

学級づくりや縦割り班、JRC等の活動を通
し、児童の社会性を育成する。

「篠山メソッド」やWeb配信集計システ
ムを活用し、集中力を高め基礎学力の定
着を図る。

体力向上を目指した「1学校1取組」や生
活習慣づくりを進め、アウトメディアや歯

と口腔の健康改善の取組を進める。

3 学習指導の大綱

(1) 教科指導

基礎基本の確実な定着と、それらを活用
し課題解決する力の育成を進め、学習意欲の
向上を図る。

(2) 道徳の時間

他人を思いやり、正しいと思うことを実
行しようとする態度を育てる。

(3) 総合的な学習の時間

地域から学習課題を見付け、解決に向け
た探求的な活動を通して、地域や人に進ん
で関わる児童を育てる。

(4) 特別活動

互いに助け合い、認め合う人間関係を築
き、よりよい学校生活を築こうとする態度
を育てる。

4 生徒指導の大綱

(1) 指導の重点

コミュニケーション能力と規範意識の向
上により社会性を育成し、互いの良さを認め
合い、いじめを許さない態度を育てる。

(2) 具体的な実践の方策

市共通 8 項目アンケートを年 3 回実施し、
PDCA で「魅力ある学校づくり」を推進す
る。

各学級でスローガンを作成し「いじめ
見逃しゼロ強調月間」の取組を充実さ
せる。

授業では、対話に重点を置き、思考力・判
断力・表現力を育成する。

学校生活アンケートや Q-U 検査、「子どもを語る会」を通じて児童理解を深め、幼・保、中学校との連携を図り、小1 プロブレムや中1 ギャップの解消を図る。「いじめ防止学習プログラム」を基に、児童に自己有用感や規範意識を育み、粘り強く取り組む態度を育てる指導を工夫する。

5 校内研究の概要

(1) 研究主題

相手の考えを受け入れ、自分の考えを伝える子どもの育成(3年次)
~対話による考えの深まりを目指して~

(2) 研究内容

- 「対話的な学び」を重視した授業改善。
- ・全学級における国語科の授業研究を行う。
 - ・月1回授業改善週間を設け、授業改善チェックリストを用いて実践に取り組む。
- <授業改善の視点>
- ・対話による考えの深まりが生じる課題設定の工夫、ねらいの達成に向けた対話活動の位置付け、学習のまとめや振り返りの実施等。
- 日常における対話指導の実施。
- ・学級活動や教科指導など、様々な学習場面で対話が生まれる工夫をする。
- 学習規律、学習ルールの提示
話型の提示
- *その他、篠山メソッドによる基礎学力定着と家庭学習の取組を推進する。

6 重要な教育活動

(1) ジオパーク学習

総合的な学習の時間や各教科の中で、地域素材や地域の講師と関わり、児童がふるさとの特性やよさを学び、課題解決能力を育む。

3年生・・・西海の名勝の調査、紹介
4年生・・・海川の調査、環境を守る活動
5年生・・・米作り、米を生かした活動
6年生・・・職場見学(体験)、福祉活動
地域づくり子ども会議

(2) キャリア教育

係活動や委員会活動、JRCの活動を通して他のために役立つ喜びを味わうことができるようにする。

低学年・・・当番、係、清掃活動

中学年・・・係活動やVS活動

高学年・・・委員会活動、VS活動

*「夢ナビカルテ」の全学年での活用

(3) 特別支援教育

特別な支援が必要な児童の情報共有を全職員で定期的に行い、特別支援教育コーディネーターを中心に、全校体制で支援する。

教育支援委員会と連携し、実態把握と効果的な支援を工夫し、実施する。

7 課外活動

(1) 設置している課外活動

体育部(陸上・水泳) 音楽部

(2) 活動時間

体育部、音楽部とも大会、発表会前に実施
火・木曜日・・・15:45~16:35

8 教職員の構成

校長1 教頭1 教諭8 助教諭1
養護教諭1 事務主事1 教育補助員1
管理員1 調理員3

9 学校運営協議会

【委員の構成】15名

自治振興協議会長、後援会長、公民館長、西海をよくする会会長、主任児童員、民生・児童委員、PTA会長他

【CSとしての課題】

地域を明るく元気にし、活性化を図るあいさつ運動の実施
災害時における学校と地域の連携の在り方と役割分担
地域と連携・協力した教育活動の推進



糸魚川市立糸魚川東小学校

所在地 糸魚川市東寺町 2-4-1

校長 猪又 光明

教頭 平野 浩一

025(552)2700

fax025(552)5256

Email magatama@itoigawa.ed.jp

30年度学級編成

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特支	合計
学級	2	2	1	2	2	2	3	14
男子	15	21	16	28	26	24	11	141
女子	20	33	18	26	25	25	4	151
計	35	54	34	54	51	49	15	292

1 学校の概観

(1) 学校の沿革

S55年 糸魚川東小学校開校

H19 国立教育政策研究所指定「我が国の伝統文化を尊重する教育」研究発表会

H22 校舎耐震改修工事完了

(2) 教育課題

自他を大切に作る心の育成

基礎学力の定着と家庭学習の習慣化

健康習慣の育成

互いのよさを認め合う気持ちの醸成

2 本年度の教育課程

(1) 教育目標

「やさしく かしく たくましく」

(2) 重点目標

自分や相手を大切にできる子

集中して学習に取り組み、ねばり強く努力する子

望ましい生活習慣を身に付け、進んで運動する子

(3) 重点目標達成のための方策

全校体制による課題3部会の取組

共感的な人間関係を築く集団づくり

明るくあいさつと返事の習慣化

人権感覚と善悪の判断力を高める指導

課題の明確化と学び合う授業の工夫

基礎基本の定着や集中力を高める取組の実施

家庭学習習慣の確立と内容の充実

生活リズムと食に関する指導の実施

個々の体力が高まる体育指導の工夫

運動に親しむ機会の設定や環境の整備

3 学習指導の大綱

(1) 教科指導

授業改善を通じて、主体的な学習態度を養い、基礎的な知識・技能の習得や思考力、判断力、表現力等を育てる

(2) 道徳の時間

友達と互いに信頼し、学び合って友情を深め、人間関係を築こうとする態度や、善悪の判断をし、責任のある行動をしようとする態度を育てる。

(3) 外国語活動

外国語を使い、表現に親しみながら、進んでコミュニケーションする態度を育てる。

(4) 総合的な学習の時間

地域の人、ジオ、社会から課題を見付け、よりよい解決を目指し、学習したいことを生かして主体的・探求的に取り組む力を育成する。

(5) 特別活動

友達と助け合い、協力しながら最後まで自分の役割をやり通す態度を育成する。

4 生徒指導の大綱

(1) 指導の重点

温かい人間関係が築かれた集団の中で、のびのびと活動する中にも節度ある学校生活を送ることができるようにする。

(2) 具体的な実践の方策(抜粋)

共感的な人間関係づくり

望ましい生活習慣の確立

児童の実態に即した生活目標の取組とSSTの実施

5 校内研究の概要

(1) 研究主題

「自分や相手を大切にできる子」の育成～考え、議論し、自己を見つめる道徳授業の推進を通して～

(2) 研究の内容

「特別の教科 道徳」の授業モデルについて研究する。

全職員が一貫した指導の流れ(学習過程)をもち、授業を構想する。

子どもが学習課題を自分の問題としてとらえて考えることを通して、自己を見つめる手立てを工夫する。

授業終末では「本時の振り返り」を行い、子どもの学びを積み上げていく。これを評価に活用する。

研究機関や道徳の先進校の実践報告、書籍などにより積極的に情報を得て、指導方法について学ぶ。

6 重要な教育活動

(1) ジオパーク学習

ジオサイトなどの歴史・文化・自然から学び、地域に対する誇りと親しみや愛着を育てる教育活動を行うようにする。

3年生...地域や市にあるジオパーク学習

4年生...塩の道探検

5年生...食を通じた系魚川PR大作戦

(2) キャリア教育

学校生活の中で自分の役割や適正を見つけ、周囲と協力して責任を果たすようにする。

低学年...学級での係や当番活動の実施

中学年...社会科における町探検や見学での職業理解

高学年...地域の方とのふれあい活動や職場体験

(3) 特別支援教育

支援を必要とする児童の全職員での情報共有

と支援

・校内委員会における対応策の情報の共有と一貫した支援

ユニバーサルデザインに基づいた教室の環境整備

・教室掲示物等の一貫した取組

関係機関と連携したとぎれない支援

・通級指導担当者を中心した連携

(4) 篠山メソッド(小学校のみ)

実施の概要(時間、内容)

百ますの取組は、各学年で朝学習や算数の時間を使って、週に複数回実施する。また、家庭学習としても活用する。

音読は、低学年を中心に朝学習や国語の時間で実施する。

漢字は、学期ごとに朝学習や国語の時間を使って、定期的に複数回実施する。また、家庭学習としても活用する。

7 教職員の構成

校長 1 教頭 1 教諭 15 講師 3

養護教諭 1 事務主事 1 教育補助員 3

管理員 1 調理員 6

8 学校運営協議会

【委員の構成】15名

学区協議会長、民生児童委員、交通指導員、幼稚園・保育園職員、PTA

【CSとしての課題(熟議の課題)】

系魚川東小の児童・地域の良い点・課題の共有
系魚川東小ならではのCSにおける取組の検討





糸魚川市立糸魚川小学校

所在地 糸魚川市中央 1-2-1

校長 山本 修

教頭 小野 聡

025(552)0042

fax025(552)1304

Email itosyo@itoigawa.ed.jp

30年度学級編制

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特支	合計
学級	3	3	2	2	3	2	5	20
男子	30	43	40	35	39	28	21	236
女子	35	26	32	38	35	35	6	207
計	65	69	72	73	74	63	27	443

1 学校の概観

(1) 学校の沿革

M 5 柏崎県学糸魚川分校として開校

T 12 現在の校歌(第2校歌)制定

S 10 講堂新築・校舎増改築

S 41 旧校舎建設

S 42 白馬童子建立

S 50 ことばの教室設置

S 55 糸魚川東小学校と分離

S 56 北校舎増築

H 13 創立130周年・新講堂竣工

H 17 高田養護学校ひすいの里分校併設

H 23 創立140周年

H 25 現校舎建設・完成

H 26 現校舎完成竣工式

(2) 教育課題

確かな学力：自ら考え、学び合う子

豊かな体験と遊び：かかわって活動する子

よりよい生活：心と体が元気な子

2 本年度の教育課程

(1) 教育目標

「やさしく ゆたかに たくましく」

(2) 重点目標

かかわって学ぶ子

(3) 重点目標達成のための方策

関わり合いや学び合いを土台とした学校づくりを進め、「かかわって学ぶ子」の育成に努める。

児童理解・生徒指導の一層の推進に努め、いじめや不登校、非行の防止に努める。

家庭、地域に信頼される学校づくりを推進する。

3 学習指導の大綱

(1) 教科指導

自ら考え、学び合う子を育成する。

(2) 道徳の時間

人や自然との関わりを大切にし、思いやりの心をもつ子を育成する。

(3) 外国語活動

外国語に興味をもちコミュニケーションを楽しもうとする子を育成する。

(4) 総合的な学習の時間

主体的・探究的な活動を通して、互いに学び、表現し合う子を育成する。

(5) 特別活動

友だちと認め合い、創意工夫して主体的に活動に参加する子を育成する。

4 生徒指導の大綱

(1) 指導の重点

心のふれあいを大切にし、助け合いながら自己実現を目指す子どもの育成

(2) 具体的な実践の方策(抜粋)

互いのよさを認め合い、児童一人ひとりが自己存在感をもてる学級経営を行う。

生活目標を設定し、基本的な生活習慣の徹底を図る。

命の大切さを強調して指導し、生命尊重の心を育てる。

研修会や職員終礼等で情報交換を行い、全職員の共通理解のもとに問題行動の早期発見・早期解決にあたる。

5 校内研究の概要

(1) 研究主題

「みんなで学ぶ楽しさを実感する子の育成」
～学級力・授業力の向上から～

(2) 研究の内容

授業力の育成

～他者とのかかわりを大切にした

外国語科・外国語活動授業の工夫～

・単元構成の工夫

他教科との関連した単元構成の工夫

・授業構成の工夫

必要感のあるコミュニケーション活動

・T1、T2、ALTの役割分担

授業の中での役割分担の明確化

・環境づくり

他国の文化理解のための掲示物の工夫

学級力の育成

～互いに認め合い、高め合う力の育成～

・学級力向上プロジェクト

支持的な学級風土のある学級を目指すための
R-PDCA サイクルでの学級づくり

・対話スキルの定着

友達の考えを肯定的に聴き、考えをつなぐ
対話スキルの定着

6 重要な教育活動

(1) ジオパーク学習

身近なジオパークを教材にした生活科・総合的な学習の時間の活動での体験や学習活動を通して、ふるさと糸魚川への愛着や誇りを形成する。

3年生：地域の商店街を探検し、糸魚川とそこで暮らす人に関心を持ち、地域のよさを発見し、ふるさとを愛する子を育てる。

4年生：塩の道や道にかかわる事象を調べ、道と人との関わりを見つめ、地域に伝わる伝統や文化を大切にしようとして活動する子を育てる。

他

(2) キャリア教育

「新潟っ子プラン」を全校体制で推進し、小中の連携した取組を推進する。

低学年...友だちづくりを中心に自己及び他者への関心を高める。

中学年...自己のよさや伸びを見つけることによって自己肯定感をほぐす。

高学年...自己の個性を理解し、夢に向かって自分の能力を高めようとする意欲や態度を育てる。

(3) 特別支援教育

特別支援学級の児童がいきいきと活動できるよう交流・共同学習を積極的に行う。

児童の実態に即した支援を行い、個別の指導計画を基にして指導の工夫改善に努める。

ひすいの里総合学校との連携を密にし、交流及共同学習を計画的に推進する。

(4) 篠山メソッド

実施の概要（時間、内容）

百マス計算

・算数の時間始まりの5分で行う。

・個人ファイルに、結果カード、終わった百マスのプリントを綴る。

音読

・朝の会に音読を行う。

7 教職員の構成

校長 1 教頭 1 主幹教諭 1 教諭 22

講師 5 養護教諭 1 事務主幹 1

栄養士 1 事務補助員 1 言語(幼) 2

教育補助員 5 司書 1 管理員 2 調理員 6

8 学校運営協議会（該当校）

【委員の構成】28名

後援会長、町内会長、教職経験者、PTA等

【CSとしての課題（熟議の課題）】

地域における特別支援教育の理解。

地域の教育資源の積極的活用。

開かれた学校の一層の推進。



糸魚川市立大野小学校

所在地 糸魚川市大野 2044- 1

校長 藤本 高雄

教頭 田村 良久

025(552)0095

Fax 025(552)0172

Email i-oono-s@itoigawa.ed.jp

30 年度学級編成

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特支	合計
学級	1	1	1	1	1	1	2	8
男子	3	7	5	4	6	3	4	32
女子	6	6	3	9	8	3	2	37
計	9	13	8	13	14	6	6	69

1 学校の概観

(1) 学校の沿革

明治 6 年 字西明寺の無毒庵を仮校舎とし、仮学校を設立

明治 9 年 字江端 2 0 3 8 に新校舎完成

明治 21 年 尋常科大野小学校と改称

明治 23 年 現在地に校舎新築

昭和 22 年 大野村立大野小学校と改称

昭和 28 年 新校舎建築 落成祝賀会と併せて、創立 8 0 周年記念式を挙行

昭和 29 年 糸魚川市立大野小学校と改称

昭和 48 年 創立 1 0 0 周年記念の式典挙行

平成 5 年 創立 1 2 0 周年記念の式典挙行

平成 12 年 新校舎建築

平成 15 年 創立 1 3 0 周年記念の式典挙行

平成 19 年 キャリア教育文部科学大臣賞受賞

平成 25 年 創立 1 4 0 周年記念の式典挙行

(2) 教育課題

基礎・基本の定着(自ら考える力の育成)

豊かな心と共感的な人間関係づくり

いじめ・不登校の解消

体力の向上と健康な生活習慣の確立

郷土を大切にす教育の推進

2 本年度の教育課程

(1) 教育目標

ひとりで(自立) みんなと(共生) さらに(挑戦)

(2) 重点目標

かかわり合って学びを深める子

自分と相手を大切にし、かかわり合う子

望ましい生活習慣を身に付け、体づくりにはげむ子

(3) 重点目標達成のための方策

分かる授業の実践によって、「学ぶ意欲と確かな学力」を身に付けさせる。

ファミリー班活動を通して互いへの関心を高めるとともに、連帯感や自己有用感を高める。コミュニケーション能力を高めるために、あいさつや返事の習慣化を図る。

メディアコントロール力を向上させる(家庭学習を含めた生活習慣の見直し)。

3 学習指導の大綱

(1) 教科指導

基礎的・基本的な内容の定着を図り、意欲的に学ぶ態度を育てる。

(2) 道徳の時間

道徳的価値の自覚及び自己の生き方についての考えを深め、道徳的実践力を育てる。

(3) 外国語活動

外国語活動を通して友達、授業者、ALT とのコミュニケーションを楽しむとともに、自分の気持ちを伝える態度を育てる。

(4) 総合的な学習の時間

自分で課題を見付け、主体的に解決策を学んでいくための資質や能力を身に付ける。

(5) 特別活動

集団活動で、他者のために、自分の能力を生かそうとする実践的態度を育てる。

4 生徒指導の大綱

(1) 指導の重点

互いのよさを出し合い、認め合い、個や集団を高め合うことができるようにする。

(2) 具体的な実践の方策(抜粋)

児童一人ひとりに、生活を振り返る機会を意図的に与え、適切な意欲づけを行う。

定期的に生徒指導連絡会や児童理解研修を実施し、適切な対応について共通理解を図るとともに、いじめ・不登校・問題行動の早期発見・対応・解決に努める。

ハイパーQ-Uの結果を活用した研修を充実させ、意欲的に学習できる学級集団、いじめの起きない学級集団づくりを実践する。

5 校内研究の概要

(1) 研究主題

「かかわり合って学びを深める子の育成」

(2) 研究の内容

学習の見通しがもてる課題提示の工夫
考えが深まるようなかかわり合いの工夫
学ぶ意欲につながる振り返りの工夫
学びに向かう集団にするためのよりよい関係づくり

6 重要な教育活動

(1) ジオパーク学習

主に総合的な学習の時間で、地域素材や地域講師を活用し、児童がふるさとへの誇りと愛着を持つことができるようにする。

1年生...美山公園自然探検

2年生...地域講師「野菜の先生」

3年生...「塩の道」についての学習

4年生...ホテルの観察・飼育

(2) キャリア教育

将来に対する夢や希望をもち、努力する態度を育てる。

学ぶことや働くことの意義を考え、互いに協力し合う喜びや充実感を味わわせる。

自他共に認め合い、よりよい人間関係を築こうとする態度を育てる。

低学年...学級活動、ファミリー活動による人間関係づくり

中学年...地域探検や社会科見学での職業理解

高学年...老人介護施設訪問での奉仕体験

美山整備活動への参加

地域の講師による職業講話

(3) 特別支援教育

支援を要する児童の実情に応じて、指導の配慮や工夫を図り、自立に向けて日常生活や学習活動が向上するように支援する。(自立)
教育活動の中で、達成感や成就感がもてるよう十分に配慮し、他の児童とかかわることができるように支援する。(共生)

学習上や生活上で困難のある児童の実態把握を適切に行い、実態に応じた目標を設定し、挑戦を支援する。(挑戦)

(4) 篠山メソッド(小学校のみ)

実施の概要(時間、内容)

・100マス計算(毎日:朝学習 or 授業前)

・音読(毎日:朝の会)

7 教職員の構成

校長 1 教頭 1 教諭 8 講師 1

養護教諭 1 事務主事 1

教育補助員 2 管理員 1 調理員 2

8 学校運営協議会

【委員の構成】12名

区長、公民館長、主任児童委員、青少協会長、社会福祉協議会代表、保育園長、読み聞かせ「手塩の会」代表、公民館職員、PTA

【CSとしての課題(熟議の課題)】

地域全体で取り組む子育て



糸魚川市立根知小学校

所在地 糸魚川市東中 5121-1

校長 田中 敦

教頭 岩月 高峰

025(558)2100

fax025(558)2109

Email nechi@itoigawa.ed.jp

30 年度学級編成

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特支	合計
学級	1	1	1		1		1	5
男子	2	6	4	4	7	0	1	24
女子	6	3	1	0	4	1	1	16
計	8	9	5	4	11	1	2	40

1 学校の概観

(1) 学校の沿革

S 48 下根知小、上根知小、蒲池小を統合し、根知小学校として開校

H 11 9月現在の地へ移転

H 14 小滝小、山之坊小を統合。創立 30 周年記念式典の挙行

H 24 創立 40 周年記念式典・講演会・祝賀会の挙行 ブランコの設置及び植樹

(2) 教育課題

学習規律を守り、学習がしっかりできる子どもを育てる。

地域の人や自然・文化と主体的にかかわり、よりよい生き方を追求できる子どもを育てる。誰とでも思いやりの心でかかわり、互いのよさを認め合える子どもを育てる。

めあてに向かって体力づくりや健康づくりに励み、心身ともにたくましい子どもを育てる。

2 本年度の教育課程

(1) 教育目標

「考える子 助け合う子 がんばる子」

(2) 重点目標

考えをもち 課題を解決する子

思いやりの心で かかわり合う子

めあてをもち ねばり強くきたえる子

(3) 重点目標達成のための方策

学習内容の確実な習得のための授業を推進し、家庭学習が確立される取組を工夫して行う。児童一人ひとりが「学ぶ楽しさ」「わかる喜び」を実感できるよう特別支援教育の視点から、

個に応じた学習指導を推進する。

わが糸魚川の郷土根知を学ぶ学習を充実させ、根知に愛着と誇りをもつ心を育む。

自己肯定感を高め、共感的な人間関係づくりが行えるよう、児童一人ひとりに寄り添いながら、児童同士、さらに地域の人々と主体的にかかわる教育活動を実践する。

めあてをもち、ねばり強く心身を鍛えるとともに、望ましい生活習慣が身に付くよう家庭と連携しながら保健指導の充実を図る。全ての教育活動を通じて、生命の大切さを実感させるとともに、家庭や地域と連携した地域防災教育の一層の推進を図る。

3 学習指導の大綱

(1) 教科指導

基礎的・基本的な内容の確実な定着を図り、自ら学ぶ力を育てる。

(2) 道徳の時間

相手の立場に立って考え、人として望ましい行動を進んでしようとする態度を育てる。

(3) 外国語活動

外国の言語や文化についての理解を深め、外国語による言語活動を通して進んで外国語でコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。

(4) 総合的な学習の時間

地域の人々、物、自然とかかわり、より良い自分の生き方を追求する態度を育てる。

(5) 特別活動

クラス会議を取り入れ、自己肯定感を高め、共感的な人間関係の育成を図る。

4 生徒指導の大綱

(1) 指導の重点

毎日、元気に登校し、いろいろな人と積極的にかかわり、誰にでも明るいあいさつができる児童を育てる。

(2) 具体的な実践の方策(抜粋)

年間スローガン「明るいあいさつ 声かけ合って やさしい言葉」を学校、学級で推進し、いつでも誰にでも明るいあいさつができる子の育成に努める。

互いのよさを認め合える温かい学級、学校づくりを進める。

毎週1回、児童理解研修を行い、全職員で情報を共有し、迅速・適切な指導を行う。

児童の問題行動等が発生時は、担任が一人で抱え込むことなく、校長のリーダーシップの下、組織的に取り組む。

児童アンケート・Q U 検査・教育相談を定期的実施し、いじめや問題行動の早期発見に努める。

P T A 安全指導部や地域と連携し、あいさつ運動・交通事故防止・非行防止の推進に努める。

5 校内研究の概要

(1) 研究主題

「学級経営を基盤とし、一人ひとりが安心して自己の能力を発揮する子どもの育成(2年次)」

(2) 研究の内容

新学習指導要領で、学級経営について「学習指導と生徒指導を分けて考えるのではなく、相互に関連付けながら充実を図ることが重要である。」と述べられている。これを受け、当校では、学習集団として、児童一人ひとりが仲間とかかわりあうことができるよう、指導方法や指導体制の工夫改善を図り、学習指導を充実させ、教育目標の具現化を図っていく。

6 重要な教育活動

(1) クラス会議を中心とした学級経営の充実

学級経営を充実させることで、自己肯定感、所属感をより一層高めることができ、一人ひとりが安心して自己の能力を発揮し、意欲的に学習し、楽しい学校生活を送ることができると考え、当校では、昨年度からクラス会議を取り入れて実践してきた。

(2) 外国語科・外国語活動の充実

市の指定を受けて取り組んでいる外国語科・外国語活動の実践において、必然性のある活動の工夫、ゴールを明確にした活動、バックワードデザインによる単元展開の工夫、ペア活動の工夫、などの有効な手立てを活用して英語を使ってコミュニケーションを楽しもうとする児童の育成に努めていく。

(3) 篠山メソッド(小学校のみ)

実施の概要(時間、内容)

朝学習や授業の初めなどに、100マス計算や漢字に取り組んだ。100マス計算に関しては、2週間は、問題は変えず同じ問題にじっくり取り組んだ。

子どもの様子

100マス計算を継続することで、計算を早く正確にできるようになってきている。

計算を苦手とする児童も、繰り返し行ううちにタイムが縮まり、苦手意識が少なくなり、意欲や集中力が高まってきている。

7 教職員の構成

校長 1 教頭 1 教諭 5

養護教諭 1 事務主任 1 教育補助員 1

管理員 1 調理員 2

8 学校運営協議会(該当校)

【委員の構成】14名

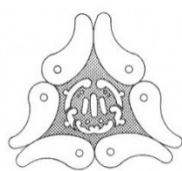
振興協議会長、社会福祉協議会支部長、教職経験者、P T A 会長、公民館長
学校応援隊他

【C Sとしての課題(熟議の課題)】

根知っ子の実態と目指す姿

地域と学校の持続可能な連携体制について

糸魚川市立田沢小学校



所在地 糸魚川市田海 13-2

校長 松澤 隆

教頭 澤田 隆

025(562)2215・2216

fax025(562)2216

Email tazawa-es@itoigawa.ed.jp

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特支	計
学級	2	1	2	2	2	2	2	13
男子	22	11	23	18	18	21	5	118
女子	20	12	18	19	21	18	1	109
計	42	23	41	37	39	39	6	227

30年度学級編成

1 学校の概観

(1) 学校の沿革

昭和 38年 田海小学校と須沢小学校が統合し、田沢小学校が開校

平成 18年 新校舎完成，旧校舎解体工事

平成 20年 体育館，プール完成，竣工式実施

平成 24年 県小研「総合的な学習の時間」研究大会

平成 25年 創立 50周年記念

(2) 教育課題

主体的に学び続ける力の育成

自己肯定感のある豊かな心と社会性の育成

生活スケジュールの自己管理力の育成

2 本年度の教育課程

(1) 教育目標

「すすんでやる子」

(2) 重点目標【目指す子ども像】

集中して学習し，学び合う子

よさを認め合い助け合う子

よりよい生活リズムを身に付けている子

(3) 重点目標達成のための方策

篠山メソッドによる，集中力と基礎学力向上

Web 配信問題を活用した指導の充実

授業改善チェックリストに基づく授業改善

中学校につながる家庭学習習慣を身に付けさせる指導の充実

地域資源を活用した教育の充実

学校司書を生かした読書教育の充実

支え合い認め合う人間関係づくり

いじめ予防，早期発見，迅速な対応

保健教育の充実

3 学習指導の大綱

(1) 教科指導

市の授業改善チェックリストに基づき，集中し，学び合う授業づくりをすすめる。

(2) 道徳の時間

自己を見つめ，物事を多面的・多角的に考え，自己の生き方についての考えを深める学習を通して，道徳的な判断力，心情，実践意欲と態度を育てる。

(3) 外国語活動

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ，聞くこと，読むこと，話すこと，書くことの言語活動を通して，コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育てる。

(4) 総合的な学習の時間

探究的な見方・考え方を働かせ，横断的・総合的な学習を行うことを通して，よりよく課題を解決し，自己の生き方を考えていくための資質・能力を育てる。

(5) 特別活動

集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ，様々な集団活動に自主的，実践的に取り組み，互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して，資質・能力を育成する。

4 生徒指導の大綱

(1) 指導の重点

いじめや不登校の解消を目指した，認め合い，支え合う集団づくり

(2) 具体的な実践の方策

自校のいじめ防止基本方針に基づいて，いじめ等の未然防止や早期発見，組織的対応を行う。生徒指導支援員の活用を進めながら，hyper-

QUの分析結果をもとに集団づくり,人間関係づくりを進める。

5 校内研究の概要

(1) 研究主題

『授業改善チェックリスト』を効果的に活用した授業改善

(2) 研究内容

平成29年度は「見通し・振り返りのある学習活動」「学び合い」のある授業づくり,をテーマに,児童が見通しをもつことができる課題設定の在り方や様々な学習場面における学び合いについて研修を進めた。しかし,効果的な「振り返り」については,なかなか時間が確保できない,内容が深まらない,などの課題が残った。主体的に学び続ける力の育成のためには,振り返りの場は極めて重要であると考えます。

そこで当校では,糸魚川市授業改善チェックリスト から を満たす授業づくりを進めることで,「振り返りでまとめやわかったことなどを授業者と児童が共有する」授業の実現を目指す。その中で,振り返りの時間の確保と内容の深まりという昨年度の研修で指摘された課題についても解決を図る。

6 重要な教育活動

(1) ジオパーク学習

- ・ジオパークに関する資料を積極的に活用する。
- ・発達段階に応じたジオパーク学習を指導計画に位置付け,体験的・探究的な学習を推し進める。

(2) キャリア教育

- ・「夢ナビカルテ」の活用と,小中連携を考慮した活動を行う。
- ・「夢ナビゲーション月間」の取組を充実させ,主体的に自分の将来を設計できる力を育てる。
- ・幼稚園・保育園・学校と家庭・地域及び事業所との連携を通して,地域参画型のキャリア教育を進める。

(3) 特別支援教育

園・学校体制で取り組む特別支援教育の推進

- ・校内委員会を中心とする校内体制の工夫・

改善に努める。

- ・個別の指導計画に基づいた教育活動を実践し,評価・改善を図る。
- ・交流及び共同学習を継続的に実施する。関係機関との連携による一貫した支援
- ・発達支援センター・特別支援学校及び通級指導教室等の関係機関との連携を図る。

(4) 篠山メソッド

朝学習での音読と百ます計算(火・水・木の朝学習)

2学期までの漢字前倒し学習(2~6年)

7 教職員の構成

校長 1 教頭 1 教諭 11
講師 2 助教諭 1 養護教諭 1
事務員 1 栄養教諭 1 司書 1
教育補助員 3 管理員 1
調理員 6

8 学校運営協議会

【委員の構成】

後援会長、副会長 学識経験者
関係行政機関の職員 P T A
防犯パトロール員 民生委員
公民館長・自治会長

【CSとしての課題(熟議の課題)】

地域を支え背負う人育て目標の実現のため,地域,学校,家庭が果たすべき役割を見定め,実行できる体制を整える





糸魚川市立青海小学校

所在地 糸魚川市大字青海 382 番地

校長 富永 清文

教頭 大塚 均

025(562)2027

fax025(562)2169

Email omi-es@itoigawa.ed.jp

30年度学級編成

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特支	合計
学級	1	1	1	1	1	1	1	7
男子	9	10	15	10	9	10	2	65
女子	9	7	11	11	8	13	2	61
計	18	17	26	21	17	23	4	126

1 学校の概観

(1) 学校の沿革

- M 6 柏崎県学区青海村分校として開校
- M 3 4 村立青海尋常高等小学校と改称
- S 2 2 町立青海小学校と改称
- S 3 0 大沢分校開設
- S 4 3 大沢分校廃止
- S 4 7 新校舎(現校舎)落成式
創立百周年記念式典挙行
- S 5 0 橋立小学校統合
- H 1 4 耐震補強及び大規模改修工事
- H 1 6 糸魚川市立青海小学校に改称
- H 1 7 歌外波小学校統合
文科省指定研究「人権教育」
「人権教育研究」発表会(11.29)
- H 3 0 市振小学校統合

(2) 教育課題

- 自分も友達も大切に
目標をもち計画的に学習する
進んで思いや考えを伝え、学び合う。
進んで体を鍛え、基本的な生活習慣を身に付ける。

2 本年度の教育課程

(1) 教育目標

心をこめて かかわる子

(2) 重点目標

- ・思いやりのある子
- ・よく考える子
- ・たくましい子

(3) 重点目標達成のための方策

- ・人権や命を尊重し、互いに認め合い、支え合う人間関係を築くことができるコミュニケーション力を育成する。
- ・基礎・基本の定着を図り、思考力・判断力・表現力を育成する。
- ・基本的な生活習慣を、自ら考え実践し、心身の健康を維持増進しようとする意欲や態度を養う。

3 学習指導の大綱

(1) 教科指導

- 子どもが生涯学び続けていく基盤を築くために、学ぶ楽しさや成就感が実感でき、基礎・基本を確実に身に付けることができる授業づくりに取り組む。
- ・糸魚川市授業改善チェックリストを活用し、見直し振り返りのある授業を展開する。
- ・Web 配信問題を活用し、子どもの実態把握や指導の改善に努める。

(2) 道徳の時間

- 人権、生命を尊重し、互いに認め合い、支え合おうとする実践的態度を育成する。
- ・人権月間での学びを発表したり、道徳授業を公開したりして、保護者や地域との連携を図る。

(3) 外国語活動

- 楽しみながら、外国の言語や文化に親しむ活動を通して、積極的なコミュニケーション能力を育成する。

(4) 総合的な学習の時間

- 進んで地域にかかわり、課題を見つけて追究し、学んだことを、分かりやすく発信する力を育てる。
- ・青海、歌外波、市振地域の素材と繰り返しかわる学習を展開する。
- ・教科横断的な学習を展開するとともに、あけぼの学習発表会で成果を発表する。

(5) 特別活動

- 主体的に活動に参加し、互いに思いやり、認め合い、助け合おうとする気持ちや態度を育てる。
- ・異年齢集団活動を通して、下級生を思いやる心情や、上級生に対する信頼感を高める。
- ・学校行事への参加を通して、に全力で取り組み、仲間とともに高め合う姿勢を伸ばす。

4 生徒指導の大綱

(1) 指導の重点

- 一人ひとりの子どもが学校生活において充実感が得られるよう、個に応じたきめ細かな指導に努める。

(2) 具体的な実践の方策(抜粋)

- ・基本的な生活習慣の定着を図る指導の徹底
- ・自己肯定感を高めるための「自己選択・自己決定・自己評価」の場の設定
- ・「心のアンケート」を活用した教育相談の実施
- ・定期的な児童理解研修に基づく情報共有
- ・教育相談員やスクールカウンセラー、生徒指導支援員と連携した多角的な児童理解の推進
- ・人間関係形成力の育成に向けた継続的な指導

5 校内研究の概要

(1) 研究主題

「他者と共によりよく生きる児童を育てる道徳教育」
～「質の高い多様な指導方法」の追究を通して～
(1年次)

(2) 研究の内容

本年度からの本格実施を見据え、当校では昨年度から道徳科の指導方法について研究を進めてきた。能生小学校、東京都小学校道徳研究会の先行研究を基に、指導方法を「登場人物への自我関与が中心の学習」に絞り込んで授業研究を行った。実践を通して、教材分析の方法や、発問の在り方、授業の展開など、道徳科における授業の組み立て方について教職員の理解を深めることができた。

今年度は、昨年度の成果を踏まえ、子どもが指導内容について切実感をもって学ぶ姿を目指す。本年度より正式に使用する教科書教材の内容を学校の教育計画と照らし合わせて、意図的・計画的に指導する時期の変更を行い、年間指導計画の自校化を図る。

また、以下の2つを道徳科における指導改善の柱とし、授業研究を進める。

考えを広げ、深める話し合い活動の工夫

資料との出会いや話し合いを通して、子どもは視野を広げたり、自らの思いや考えを意識したりする。考えを出し合う、まとめる、比較するなどの目的に応じて、場の設定を工夫したい。

自己を見つめるための書く活動の工夫

書く活動は、子どもが考えを整理したり、自分自身と向き合ったりする重要な役割をもつ。必要な時間を確保するとともに、分量やフィードバックの仕方を工夫して、子どもの成長を認め、励ます評価に生かしていきたい。

6 重要な教育活動

(1) ジオパーク学習

生活科や総合的な学習の時間を通じて、糸魚川世界ジオパークの地理的な特徴や自然の豊かさに気付くようにする。

3年生...青海、市振地域に伝わる昔話や伝承

4年生...青海川、境川流域を中心とした岩石

5年生...名引山近隣の動物や植物

6年生...青海地域と能生地域との地層の比較

(2) キャリア教育

主体的に進路を選択・決定できる能力・態度と、望ましい職業観・勤労観を育成する。

低学年...生活科での飼育当番や野菜の世話

中学年...社会科見学を通じた職業理解

高学年...環境保全を中心とした奉仕活動、福祉施設訪問での職業人理解

(3) 特別支援教育

的確な実態把握に基づく個に応じた指導の充実

・校内委員会での情報共有、個別の指導計画の見直し

(4) 篠山メソッド(小学校のみ)

実施の概要(時間、内容)

・Webテストを行わない、月・水・木曜日の朝学習で実施

・2週間を目安に同じ問題を継続

・タイムを毎回測定し、記録簿に記入

・漢字小テストは今年度は行わず、計算に重点化する。

・5、6年生は、1学期間に漢字の先取り学習を行う。

7 教職員の構成

校長1 教頭1 教諭9 講師1

養護教諭1 事務主事1 栄養教諭1(田沢小学校と兼務)

教育補助員1 通級指導員1
管理員1 調理員3

8 学校評議員

【委員の構成】4名

主任児童委員、青少年育成指導員、人権擁護委員、民生児童委員

【協議した内容、課題について】

PCを活用した学習の個別支援について

家庭学習習慣の定着について

英語学習についての現状と課題

教職員の多忙化解消について